

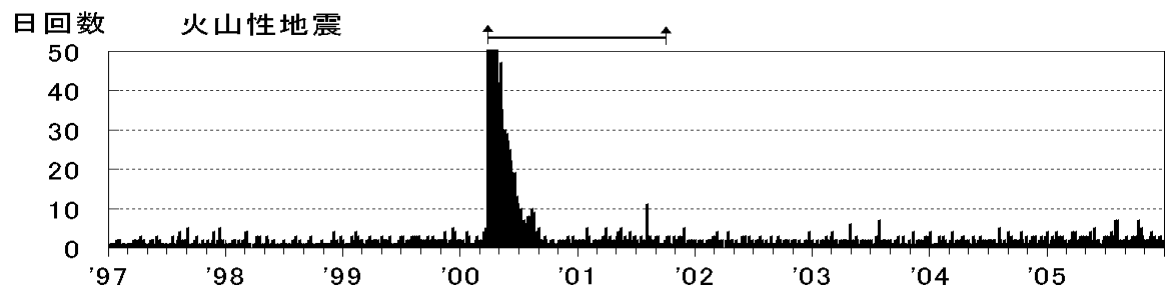
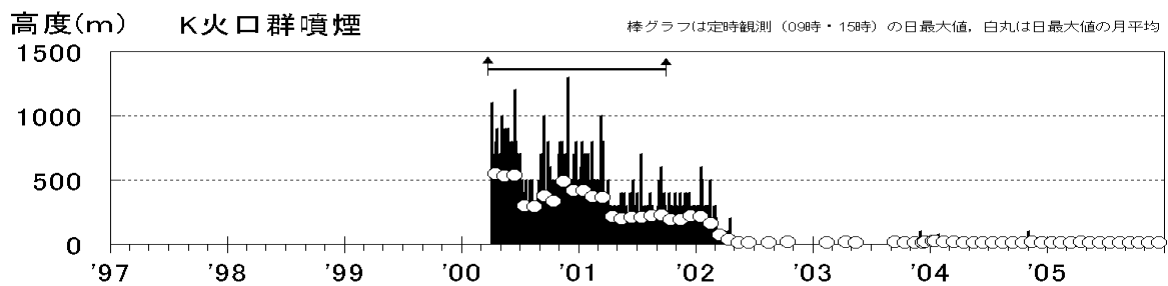
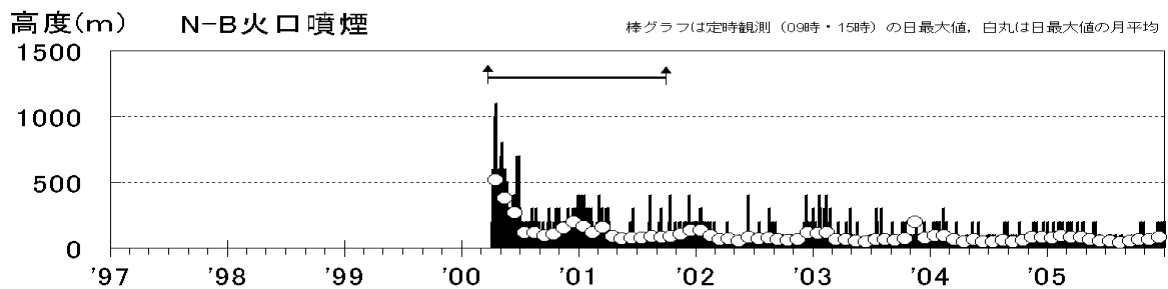
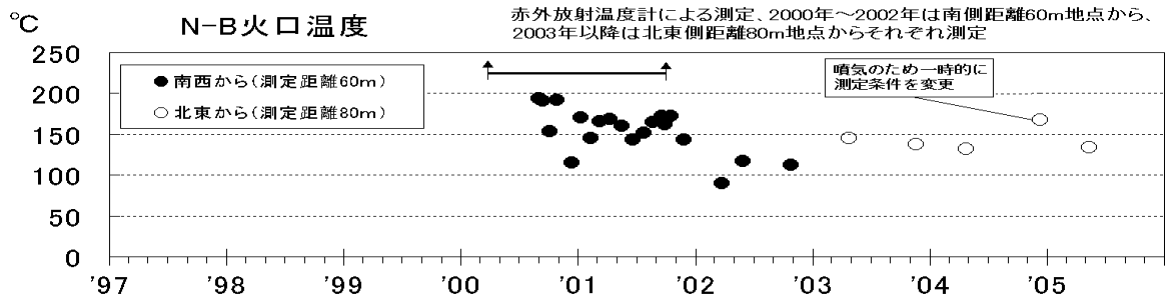
# 有珠山

## 1 概況

火山活動は静穏な状態が続いています。

## 2 噴煙の状況

西山西麓(N)火口群にあるN-B火口では、弱い噴気活動が続いており、噴気の高さは火口縁上おおむね100m以下で推移しました。金比羅山(K)火口群では、時折ごく弱い噴気が観測されました。その他、山頂火口原や昭和新山でも少量の噴気活動が続いていますが、これまでと比べて特に変わった様子は認められません。



最近の火山活動経過図(1997年1月1日～2005年12月31日)

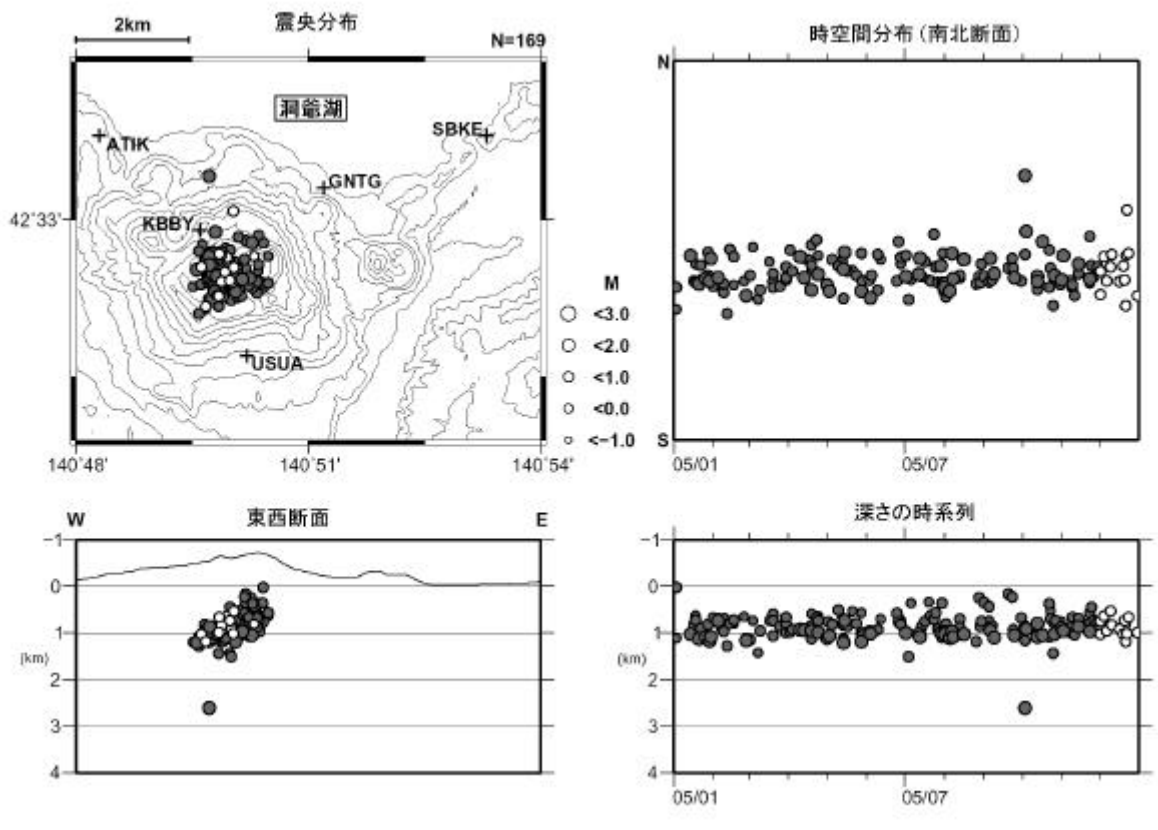
印で挟まれた期間は2000年噴火活動期

3 地震および微動の発生状況

火山性地震は1日あたり0~3回と少ない状態で経過しました。  
火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数(A点)

2005年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
地震回数	30	24	22	24	36	18	44	37	29	35	29	33
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



有珠山の震源分布図(丸印:震源 +印:地震観測点)

印は今期間(2005年12月1日~31日)に求めた震源を示しています(14個)。

印は前期間までの11ヶ月間(2005年1月1日~2005年11月30日)に求めた震源を示しています(155個)。

震源は山頂部直下の海面下1km前後に集中しており、今期間に求めた震源もこの領域内に分布しています。

震源分布図の説明

東西断面 震央分布で表示された範囲を東西面に投影して、地震の垂直分布を示した図です。

時空間分布 震央分布で表示された範囲を時間経過とともに南北面に投影することで、震央の位置がどのように推移しているかを示した図です。

深さの時系列 時間経過とともに震源の深さがどのように推移しているかを示した図です。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、新たな火山活動の高まりを示すような変動は認められません。

